



令和6年度 豊島区立朝日小学校

学校評価（中間評価）結果

令和6年11月5日（火）

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございます。

先の10月29日（火）に第2回学校運営連絡協議会を開催し、学校評価の集計結果等の報告、委員（地域）の皆様にも評価・ご意見等をいただきましたので、7月に実施した第一回学校評価（中間評価）集計結果等をご報告します。

集計結果および自由記述でいただいたご意見に対する今後の対応等の方向性をまとめました。今回は、昨年度同時期に実施した結果と比較できるよう紙面を構成しました。12月の学校評価（年度末評価）では、今回の中間評価との比較を掲載する計画です。

なお、今回の中間評価は、Google Forms と紙による回答のいずれかを選択できるよう準備しました。実施期間中（7月）に133件（Forms64件・紙69件）の回答をいただきました。本校の家庭数は、実施当時208でした。この数をもとに回収率を算出すると、約64%（昨年同時期27%）で回答率が向上しました。ただし、133件には、ごきょうだい毎に回答いただいているご家庭分も含まれますので、実際の回収率はもう少し下がるはずです。多くの皆様に、ご協力いただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

次回は12月頃に実施する計画です。80%以上の回収率を目指したいと考えます。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

NO. 1

※質問は、図8,12,13,19以外の質問は、「豊島区立小学校」で共通されている質問となっております。

I 就学前から小学校・中学校への円滑な接続

○近隣の保育園・幼稚園との連携について、学校便り・ホームページの発信に努めていきます。

図1 I-1 学校は、関係諸機関等（幼稚園、保育園、小学校、中学校）と連携を図ろうとしている。

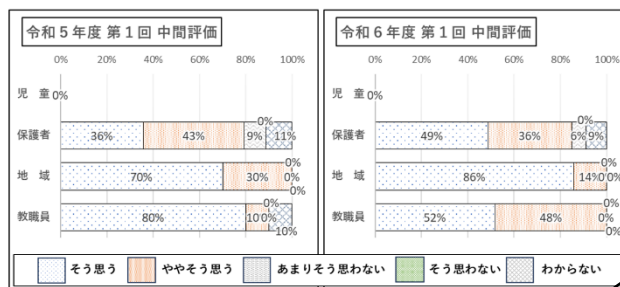


図2 児童 学校の先生の授業は、分かりやすいですか。

保護者・教員 II-1 学校は、子供の学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。

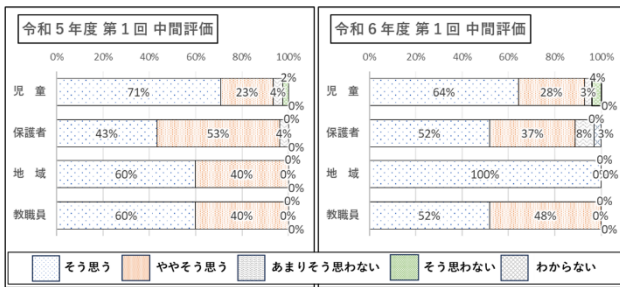
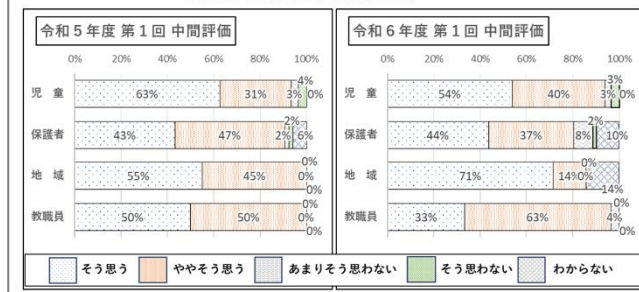


図3 児童 電子黒板やタブレットを使った授業は分かりやすいですか。

保護者・教員 II-2 学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子供の学びの意欲の向上に取り組んでいる。



II 確かな学力の育成

図2 学校では、授業改善推進プランを作成し、4つの柱で授業改善をすすめていきます。

- ①「問題解決型学習」の授業づくり
- ②ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり
- ③学習環境の整備、授業規律の徹底
- ④個別最適化された学習の充実

図3 ICT機器およびタブレットPCの活用に関する項目で、数値の変化が見られます。特に、タブレットPCの活用は、学びを深めるのに有効なツールであることが実感できるよう努めていきます。学年に応じたICT活用スキルを確実に身に付けられるよう指導を重ねます。

図4 児童 自分なりにがんばったことを、先生がみてくれて、うれしかったことがありますか。

保護者・教員 III-1 学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動を通して、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。

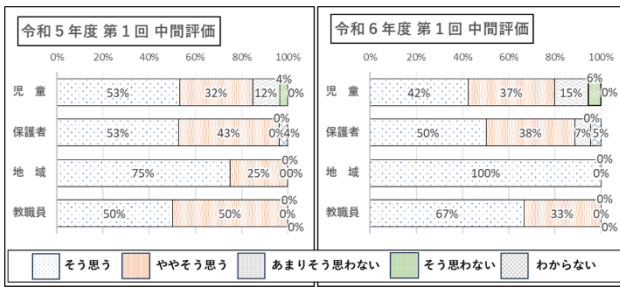
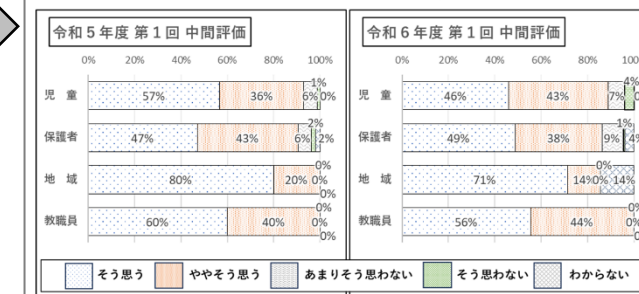


図5 児童 今のクラスが好きですか。

保護者・教員 III-2 学校は、生命を大切にする態度や思いやり、優しい心を育てている。



裏面へ

Ⅲ 豊かな心の育成

図4

○児童が「自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかった」という実感が、前年度より下がっている傾向があります。i-checkという心理検査結果も踏まえ、教員が児童の行動を即時評価し、ほめること・会話の場面を増やすことを意識してまいります。

○道徳科の授業改善に向けて、夏休みに講師を招き、研修会を開きました。9月に道徳科の授業を2回公開する機会があり、意識を高めています。

図5

児童の「今のクラスが好きか」という数値の变化は、クラス替えもあり単純に昨年度の数値と比較はできませんが、児童の学級への満足感が2学期に向上させられるよう、教員には学級の現状をしっかりと捉えさせ、その原因を解消すべき実践に取り組んでまいります。

図6

児童 運動やスポーツをすることは好きですか。
保護者・教員 IV-1 学校は、子供の体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。

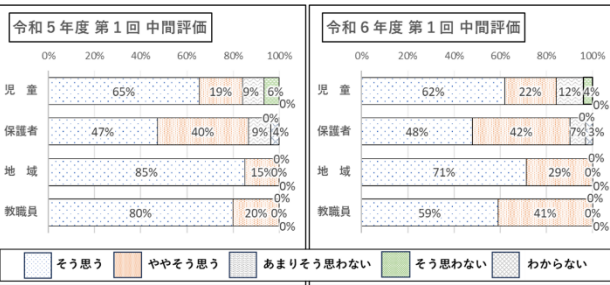
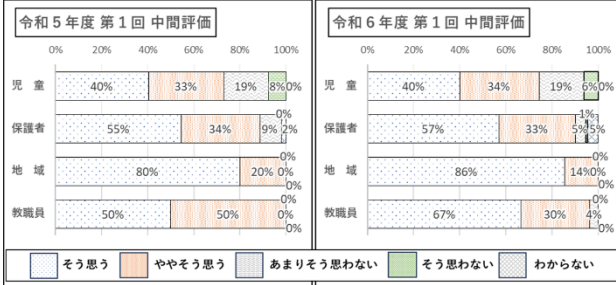


図7

児童 ふだん、栄養のバランスを考えて、食事をしていますか。
保護者・教員 IV-2 学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。



Ⅳ 健やかな体の育成

図6

引き続き、休み時間の外遊びの推奨、体育科の授業改善（運動量確保）に努めてまいります。1学期のウルトラタイムの実施時期は、7月だと高温で計画的に実施しにくいので時期を改めます。

図7

食育、健康教育を継続するとともに、児童の実感的理解が深まるよう努めてまいります。今後、学校保健委員会の開催をご案内いたします。講師を招き、子供たちの健康についてお話しいただく計画です。多くの皆様にご参会いただきたいと思います。

図8

V-☆ お子様は、楽しく学校に通っていますか。

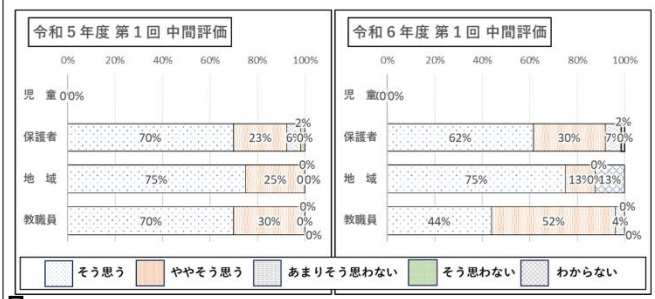


図10

児童 あなたの気持ちを分かろうとしてくれる先生がいますか。
保護者・教員 V-2 学校は、子供たちの気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。

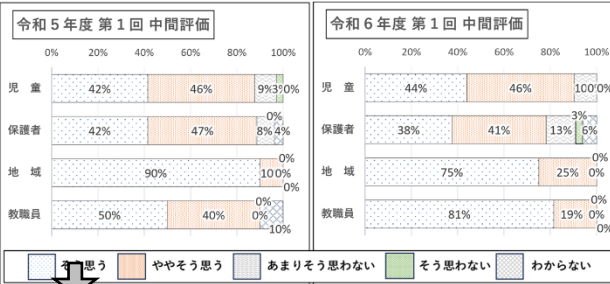


図12

VI-☆☆ お子様は、すずんて気持ちのよいあいさつをしていますか。

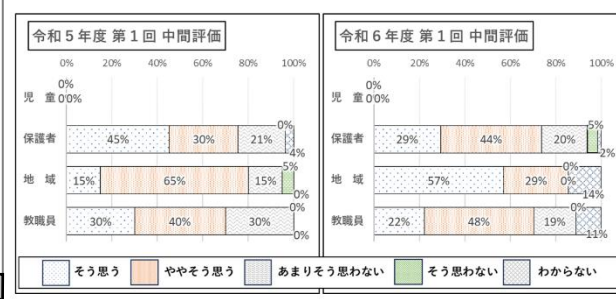


図9

児童 まわりでいじめを見たり聞いたりして、かわいそうだなと思うことがありますか。(3年・4年)
周りでいじめを見たり聞いたりして、心が痛むことがありますか。(5年・6年)
保護者・教員 V-1 学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。

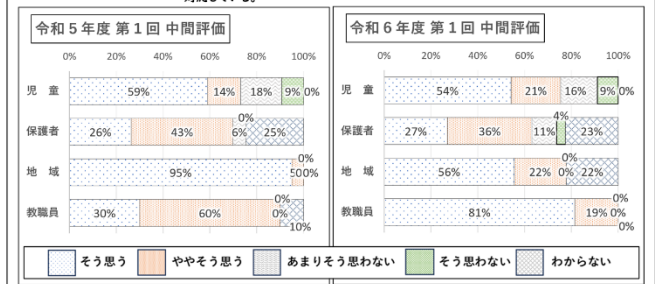


図11

V-3 学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。

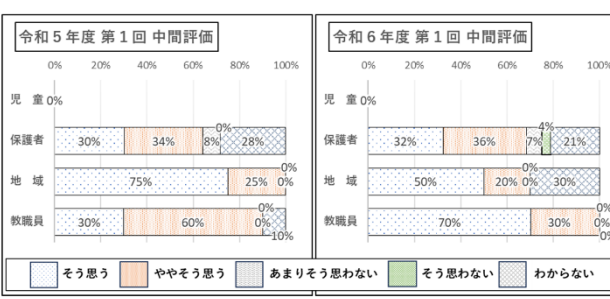


図13

VI-☆☆ お子様は、正しく丁寧な言葉遣いをしていますか。

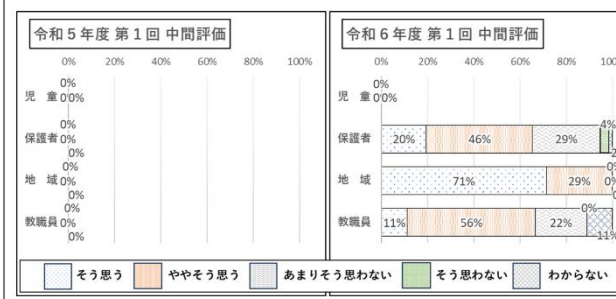


図14 児童 あなたのクラスでは、みんなが先生の言うことを守っていますか。

保護者・教員 VI-1 学校は秩序があり、子供たちは落ち着いて学校生活を送っている。

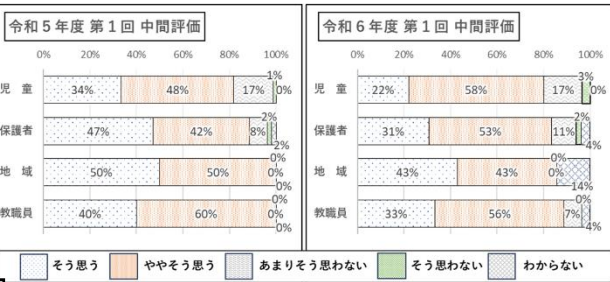


図15 児童 先生はクラスのみんなのことを、ほめたり、励ましたりしてくれますか。

保護者・教員 VI-2 学校は、保護者や地域の方の意見を受け止め、学校改善に生かしている。

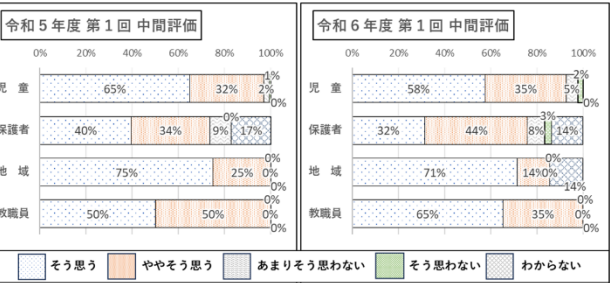
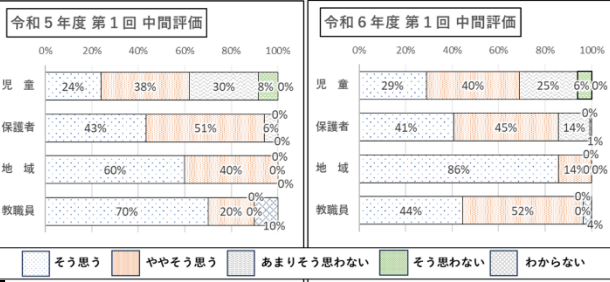
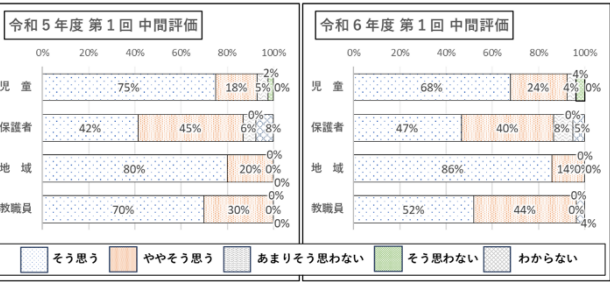
図16 児童 きんじょの人にあったときは、あいさつをしていますか。(3年・4年)
お祭りや地域のボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。(5年・6年)
保護者・教員 VII-1 学校は、学校や子供たちの様子や、学年だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。

図17 児童 自分の住んでいる地域は好きですか。

保護者・教員 VII-2 学校は、家庭や地域と協力しながら子供を教育している。



V 一人一人を大切にする教育の推進

図18 保護者、教員共に「楽しく学校に通っていますか」に対して、「そう思う」と回答する割合が下がっています。学校では、トラブル等はその日のうちに解決し、下校する際には元気に下校できるよう努めます。気になることは保護者の皆様にもご連絡し、状況を共有できるようにしています。ご家庭でも気になることがございましたら、担任等にご連絡・ご相談ください。

図19 児童のいじめに関する質問項目について、質問文の前半と後半の部分の重さの置き方で解釈が変わるのではないかとのご意見をいただきました。質問の前半部分に当たる「いじめの発生状況」を見聞した上で、回答しているならば、いじめが多く校内で発生していると読み取ることもできます。また、質問の後半部分の「かわいそう・心が痛む」と感じる「いじめに対する気持ち」の割合としても、読み取ることもできます。

いずれにしても、いじめの対応は、引き続き、迅速かつ丁寧に対応し、学校組織全体の意識をより高めてまいります。アンケート調査の結果だけに頼るだけでなく、教員がいじめの芽を感じ取れるよう研修を重ねてまいります。

図10

○児童の「あなたの気持ちを分かろうとしてくれる先生がいますか。」の質問は、肯定的な回答が微増しています。「ややそう思わない」と回答する児童がいることを重視し、担任に限らず、信頼できる大人に話すことの大切さを伝えていきます。

○自由記述で、保護者の皆様が教員と話す機会をより求めていることが分かりました。また、「学校は、子供たちの気持ちを理解するため、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている」の肯定的な評価が、昨年度より10%低下していることを真摯に受け止め、より丁寧な対応に努めます。

図11

特別支援教育等に関する項目では、「分からない」との回答が約30%あります。この状況を打開する方法について、学校でもアイデアを出し合い検討していきます。

図12・13

挨拶、言葉遣いに関しては、学校と家庭で同じ方向で意識して取り組む必要があると捉えています。場に応じた言葉遣いができることを意識して、どの児童もできるよう指導を重ねてまいります。

VI 教師力の向上と魅力ある学校づくり

図14

○特別支援コーディネーターを中心する校内委員会を月1回実施しています。今後も児童や学校の様子を情報交換して、学校組織全体で取り組めるよう努めてまいります。

○「秩序・落ち着き」の質問は、昨年度と比較すると、肯定的評価が下がりました。自由記述では、学級の様子を心配する意見もいただいています。「朝日スタンダード」や授業規律を児童と再確認する機会を設けたり、状況を振り返ったりする機会を増やしてまいります。

図15

児童の「先生はクラスのみんなのことを、ほめたり、励ましたりしてくれますか」の質問は、90%以上の児童が肯定的な回答をしています。2学期にはよりその数値が伸びるよう努めます。

VII 家庭・地域との連携

図16 引き続き、情報発信に努めます。また、地域学習が充実できるよう、単元開発に努めます。

図18

VII-1 学校は、SDGsの取組(朝日緑豊かプロジェクト・朝日心豊かプロジェクト等)に関する教育を推進している。

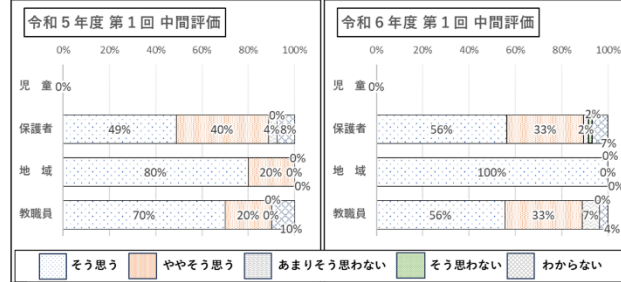


図19

VII-☆ 学校は、体験活動や学校行事を工夫しながら、子供のよりよい育成に努めている。

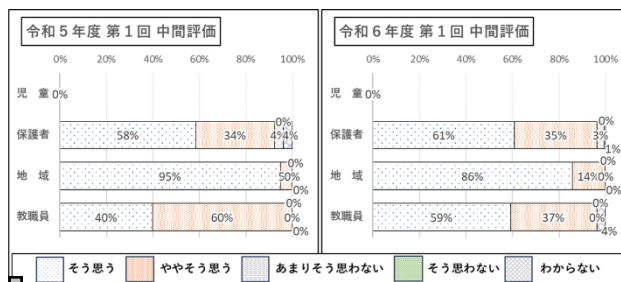
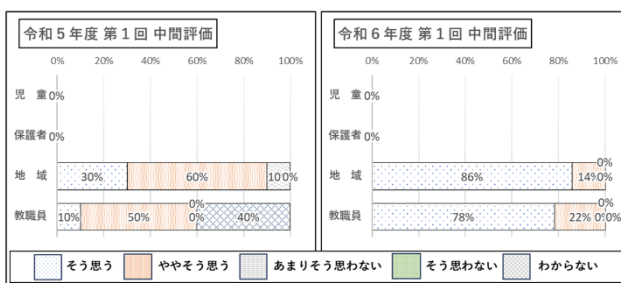


図20

IX-1 学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。



VIII 特色ある教育活動

図18 今後も、SDGsの目標実現に向けた学習を充実をさせていただきます。

図19 地域域人材を活用した学習を展開できるよう人材発掘や情報収集を行ってまいります。